

経営比較分析表（令和6年度決算）

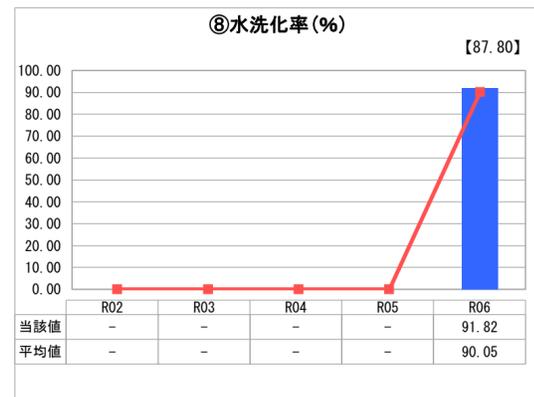
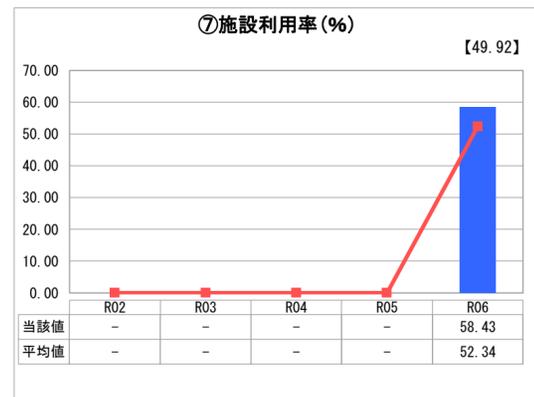
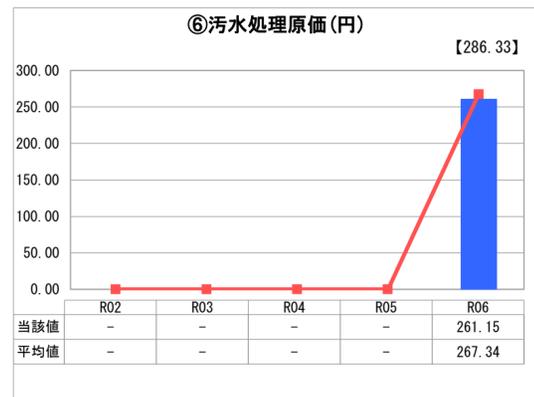
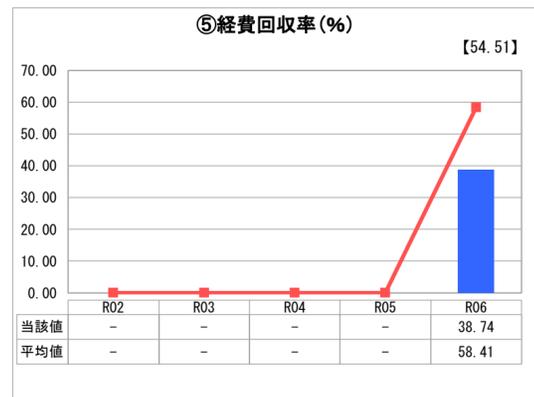
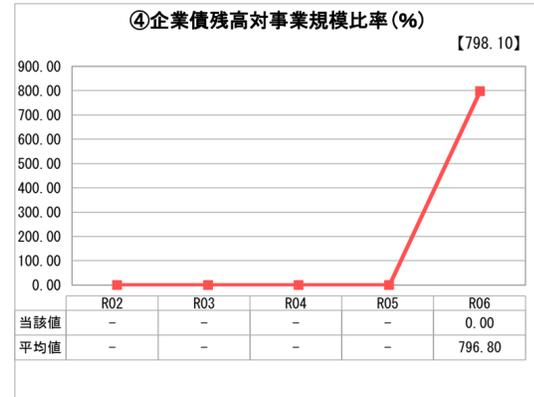
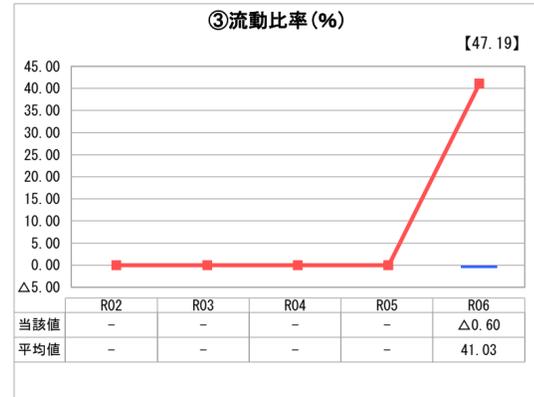
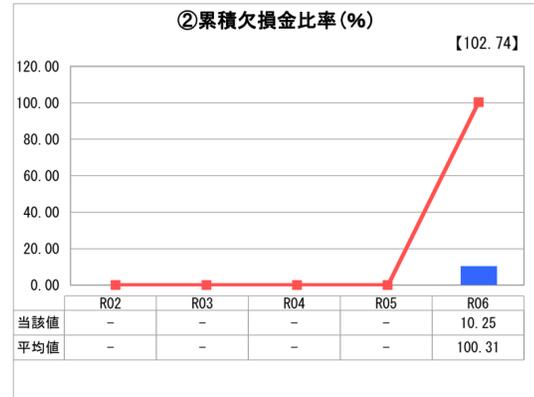
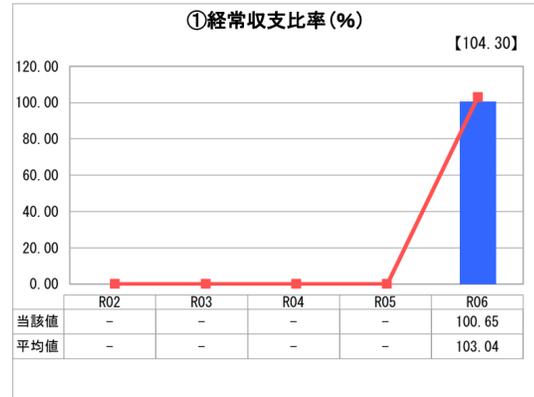
兵庫県 神戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	75.07	0.86	84.57	1,760

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,493,543	556.93	2,681.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,751	4.57	2,790.15

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

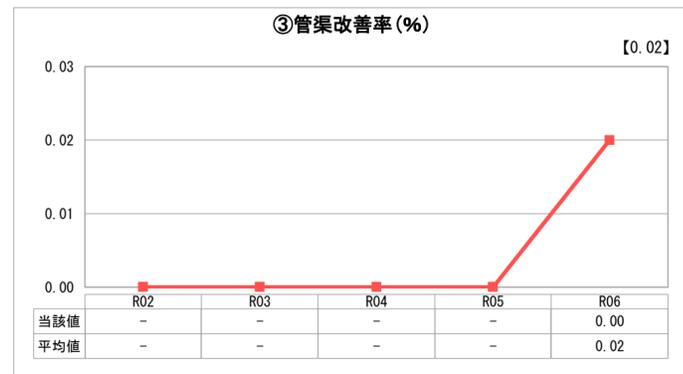
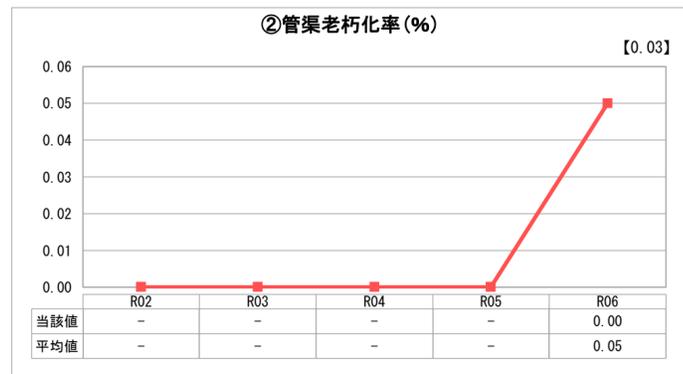
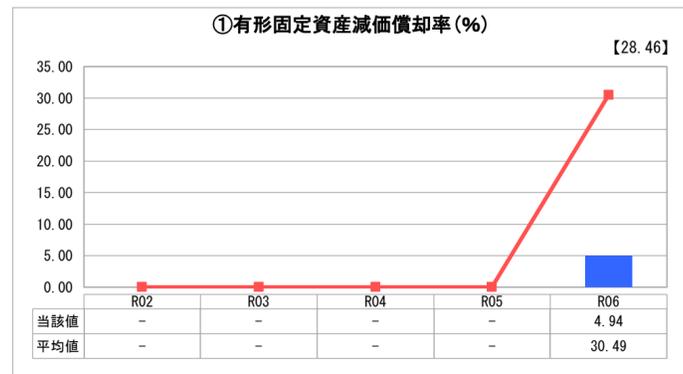
1. 経営の健全性・効率性について

①および⑤について、農業集落排水事業は市街化調整区域に立地し、小規模な処理施設が多数点在しており、公共下水道事業に比べて処理区域内の人口密度が低く、使用料に比べて必要となる費用が多い事業となっているため、汚水処理費を下水道使用料でまかなえず、一般会計からの繰入りに依存している状況にある。ただし、農業集落排水事業は、公共下水道事業と一体で経営しており、下水道事業全体の収支は黒字であり、欠損金も生じていない。②について、農業集落排水事業は、公共下水道事業と一体で経営しており、下水道事業全体では欠損金は生じていない。③について、農業集落排水事業は、公共下水道事業と一体で経営しており、下水道事業全体では流動比率は100%を超えている。⑦について、類似団体平均よりも高く、概ね適切な施設規模と考えられる。⑥および⑧について、おおむね類似団体平均と同水準である。

2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を経過した管渠はまだ存在しないため、管渠の更新は実施していない。

2. 老朽化の状況



全体総括

神戸市の農業集落排水事業は、令和6年度より公営企業会計を適用した。汚水処理原価を下水道使用料でまかなうことができず、収入の大半を一般会計からの繰入金に依存している。また、今後、多くの機器が耐用年数を迎え、機器の更新が必要となる見込である。経営の改善策として、処理区の統廃合等、効果的な処理を積極的に進めていく。引き続き経営改善を図りつつ、適正な維持管理に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。